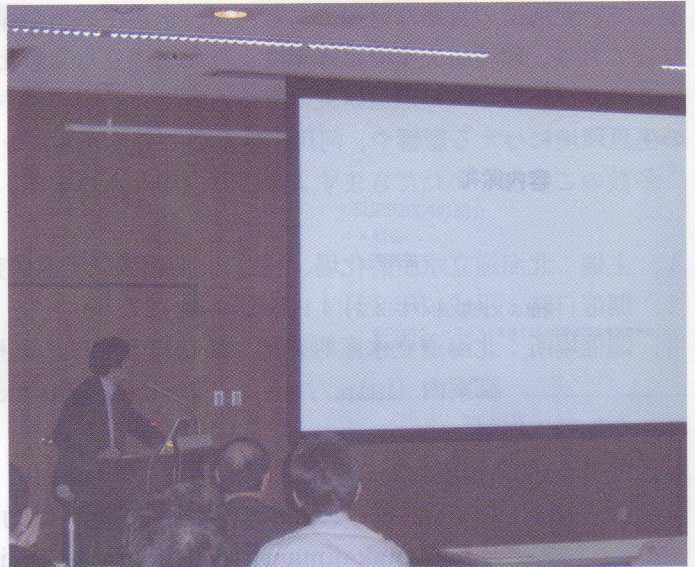


路面性状国際会議および北米路面管理水準調査報告会 (第5回寒地道路連続セミナー)を開催しました

道 路 部

平成16年11月24日(水)に北海道開発土木研究所道路部及び北海道土木技術会舗装研究委員会の共催による寒地道路連続セミナー「国際路面性状会議および北米路面管理水準調査報告会」を当研究所講堂にて開催しました。

寒地道路連続セミナーは、寒地道路に関する様々な課題について行政やコンサルタントの専門家や技術者、また大学や他研究機関の方々との情報交換及び意見交換の場として開催するもので、今回が第5回の開催です。今回のセミナーは、本年6月にカナダで開催された道路の路面性状評価をテーマにした国際シンポジウム「路面性状国際会議(SURF2004*)」及び北米各国の路面管理基準調査の報告をメインに開催致しました。



講師の北見工業大学大川村彰助教授からは路面性状国際会議の参加報告と、同会議で優秀論文賞を受賞された「第二世代ウェブレット変換を用いた路面凹凸検出方法の基礎的研究：白川龍生,川村 彰,中辻 隆」のご紹介を頂きました。維持管理研究室丸山からは「北米路面基準調査報告」と題して、米国、カナダの州政府、およびデンマークの舗装路面管理の目標値とそ

れらの法的な位置づけ等の調査結果が紹介されました。最後に維持管理研究室石田より、フィンランド国家道路庁で開発された舗装マネジメントシステムについての事例紹介がなされました。

セミナーには全道の道路管理者、コンサルタント、建設業等から65名の参加があり、アンケートを実施した結果、今後もいろいろなセミナーを開いて欲しい等の意見を頂きました。いただいたご意見、ご感想は今後の参考にさせていただきます。

【プログラム】

話題1 「路面性状国際会議 報告」

川村 彰 北見工業大学 助教授

話題2 「北米路面基準調査報告」

丸山 記美雄 北海道開発土木研究所 維持管理研究室 主任研究員

話題3 「フィンランドにおける道路性状測定及び舗装管理」

石田 樹 北海道開発土木研究所 維持管理研究室 副室長

※SURF2004 (5th International Symposium on Pavement Surface Characteristics)

世界道路協会(PIARC)が主催する舗装の表面性状全般(PMS,テクスチャ,平坦性等.)に関する国際会議。

第5回目の今回は、カナダ・トロント市で2004年6月に開催され32カ国から200名が参加。